

三重県下の診療所院長・病院産婦人科部長等 各位

妊婦リスク自己評価表の全妊婦への配布に関するご案内

前略

初春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、妊娠中の健康管理の一貫として、三重県産婦人科医会および県の協力を得、「妊娠リスク自己評価表」を妊娠届出時に母子健康手帳とともに配布することとなりましたので、ご協力頂きたく存じます。

このリスク表は以前厚労省研究班により作成されたものです。妊婦をリスクスコア別にローリスク群、中等度リスク群、ハイリスク群に分類すると、リスク度と母体・周産期予後が関連するという根拠が得られております。そこで三重県において、今後本評価表を用いて周産期医療の機能分担を強化することにより周産期死亡率や妊産婦死亡率の低下を目指したいと考えています。すなわち、妊婦さんが自らリスク表にチェックすることにより、自分のリスクをご自覚頂き、かかりつけ医の先生と健診あるいは分娩施設を1次、2次、3次のどこで行うべきか相談頂くようにします。かかりつけ医を持つことが最も重要であり、自己評価表の点数が高い場合は、かかりつけ医に必ず相談するよう、妊娠届出時等に担当者から妊婦さんに説明することになっています。

したがって、3次施設の先生方におきましては、ローリスク妊婦さんは診療所において健診を受けるよう、お勧め頂くこともご配慮願います。

この自己評価表の主旨等をご理解の上ご協力頂きますよう、お願い致します。

早々

三重大学医学部産科婦人科

佐川典正

三重県産婦人科医会

二井 栄